あおい通信 第153号

第153号 平成30年2月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話 03－3978－0919

日本の祭り 高山祭の屋台行事 世界遺産めぐり最終章（文化遺産）

高山祭は、岐阜県高山市で毎年開催される、四月十四～十五日の日枝神社例祭「春の山王祭」と十月九～十日の櫻山八幡宮例「秋の八幡祭」の総称である。

京都市の祇園祭、埼玉県秩父市の秩父夜祭と並んで日本三大曳山祭、日本三大美祭とされる。

一九六〇年（昭和三五年）六月九日に「高山祭屋台」二十三台が重要有形民俗文化財に。一九七九年（昭和五四年）二月三日に「高山祭の屋台行事」が重要無形民俗文化財に指定された。同じ行事に関連して、国の両方の指定対象となっているものは日本全国で五例のみで、その内の一例である。さらに、平成二八年十二月一日、ユネスコ無形文化遺産代表一覧の記載（ユネスコ無形文化遺産登録）が決定した。

屋台

「山車」や「曳山」のことを、高山など中部地方の一部では「屋台」と呼ぶ。祭の屋台は、各町内の屋台蔵に保管されていたるところで正面に大きな扉のついた白壁の土蔵のような建物を見かける。祭以外の時は、この屋台蔵で大切に保管される。祭の際は屋台蔵から引き出され、神社前などに引き揃えられる。

屋台

なお装飾が施された貴重な文化財であるため、雨天及び降雨が予想される場合には引き揃えは行われず各屋台蔵で待機となる。秋の八幡祭の屋台は交代で屋台会館に移され、祭の期間以外は一般客に公開されている。この屋台会館は櫻山八幡神社の境内にある。高山祭屋台は「動く陽明門」とも呼ばれ国の重要有形民俗文化財である。

神楽台（かぐらたい）

上一之町上組。

古くから山王祭の神楽、獅子舞を主管していた屋台。構造は、屋根無し、太鼓昇降、四輪外御所車。文化二年、荷車形から現在の四輪形の屋台になり、その後嘉永七年、明治二十六年、昭和五十年、平成七年に修理が行われている。

麒麟台（きりんたい）

上一之町下組。

創建年は不詳。天明四年（一七八四年）の火災で一度焼け、文化三年（一八〇六年）に再建。再建当時は「鉄輪（かんなわ）」の名で知られていた。その後「よしの静（しずか）」に改名し、さらにその後「麒麟台」になる。豪華な外見で、台名の示す通り、屋根飾りとして一対の麒麟を乗せ、中段、上段の木鼻にも麒麟の彫刻がある。下段の彫刻は、谷口与鹿作「唐子群遊彫刻」屋台彫刻中の逸品である。

東西南北

平成三十年も早ひと月が過ぎ、平成も残すところ一年と三ケ月になり、何となしに心寂しいが、心なしか、新年の参賀での天皇・皇后両陛下は晴れやかなご様子にお見受けした。

昨年は「火が金を溶かす」相克の年のせいか、実に騒がしいことが多かった。今年は「犬笑う」とかで年初の相場も高値で始まったので、いい年になるかと思いきや、北海道や日本海側は弾低気圧による暴風雪で大荒れに、積雪も例年の数倍で雪かきが追い付かない。太平洋側、特に関東地方はカラカラで火事が多いし、インフルエンザも大流行だ。

日本が寒波に襲われる年は米国東部も寒く、ニューヨークで零下二十五度を下回ったとかいうニュースが飛び込んできた。異常気象は世界中で、例年寒い所が今年は温かく、温かい所が寒いという逆転現象が起きているとか。

寒いと心まで凍るのか不祥事も多い。ここのところ撲界の不祥事がマスコミを騒がせているが、初場所はとうとう三役立行司がいなくなってしまった。カヌーの選手がライバル選手の飲物に禁止薬物を混入したり、嫌がらせをしたとか。スポーツのフェア精神は消えてしまったのだろうか。

昨年の大相撲九州場所で、横綱白鵬が優勝した後、土俵脇で演説と万歳をして、横綱の品格にもとると批判された。白鵬が「横綱の品格とは勝つこと」だと言ったとか言わなかったとか。日本人は元々精神性の高いことを尊び、金を汚いものと考えるが、外国の人には通じない。強くて権力のある人が偉いのだ。

今年がどんな年か予測もつかないが、北朝鮮はピョンチャン・オリンピックに参加している間、ミサイルは飛ばさないだろう。（やぶにらみ）

談話室

夢まで解析無用

夢でも見ているのか、眠っている亭主がニターと笑う。女房が起こしどんな夢を見ていたのか尋ねた。「夢なんかみてへん」「ほな、あんた、わたいに言えへんような夢みてたんか」町内の連中も知りたがる。お奉行さまも知りたがる。「重い拷問にかけてでも口をわらせるぞ」と、夢の中身を明かすように迫られて・・落語『天狗裁き』の女房は、食いつくように記事を読んだことだろう。睡眠中の脳の動から夢の内容を推定する事に、国際電気通信基礎研究技術研究所（京都府）が成功したという。男性3人の寝入りばなを起こすこと200回以上繰り返し、夢の内容と脳の活動（血流の変化）を記録した。「女性」や「本」など十五項目は脳活動のパターンがとくに識別しやすいようで、夢にでてきたかどうかを7割以上の確率で当てることができたという。本人が意識してない深層心理が解き明かせるようになれば、心の病気の治療に役立つ可能性もあると聞く。

「みてみい、脳は正直や。あんた、一晩に十八べんも女の夢みとるやないかい！」落語の亭主・喜やん、危うし。

ヨッチャン

葵友の会 広報コーナー

1月の報告

19日（金）7名の参加。「バンバン」にて。

19日（金）初詣日帰りバス旅行。スタッフを含めて、21名の参加。ホテルニューオータニ「なだ万」で懐石弁当の昼食の後、日枝神社で初詣。

2月の予定

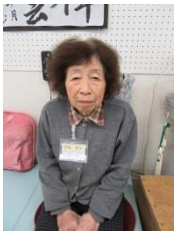
16日（金）カラオケ

3月には、総会があります。よろしくお願いいたします。（事務局長）

◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります

利用者さんの紹介コーナー



田島　昭子（水、土）

ボランティアで公園の花壇の管理をやったことがあります。応募してきた人達とグループになり、花を購入し、植えて、草取り、水やりをします。仲間が増えて楽しかったです。

笠井　典子（火、木）

朝の言葉かけを大切にしています。一日の気分を左右するものだと思うので、笑顔での一言を心掛けています。葵で楽しい時間を過ごせればと思っています。

廣田　涼子（月）

カラオケが大好きです。鹿児島出身です。大河ドラマ「西郷どん」を楽しみにしています。

俳句

「蒲公英会」（敬称略）

賀状書く　筆も走りぬ　良き友へ　相川
雷鳴や　ものともせずに　鄙（ヒナ）の唄　金子
初春の　空に希望（ノゾミ）の　ゆめ託し　関
冬立つや　言葉のほしき　夜なりけり　松本
日本海　陸地なりしと　鰯雲　図齋
寒さ増し　財布の中も　寂しくて　添谷
茶色の景　落ちて肋（アバラ）の　立姿　菅原
信念に　今の幸福　祈るなり　佐藤和
まっさらな　切株一つ　涅槃西風　酒井
薄氷を　踏みて急ぐや　登校児　穂刈
星一つ　かざり聖樹と　なりにけり　岸野
激動を　生きて米寿や　日記果つ　河角

戦時下の少国民

（私史）入江昭三

葵デイサービスの書道作品展示に、「温故」の二文字が墨痕鮮やかに掲げられていた。これは論語にある「温故而知新」の一節で「故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る」と訓読する。新しいことを知ろうとすれば、古いことから勉強しなければならない。その意で気象情報や経済の予測もみな「温故知新」である。私も古き一部をたずねてみる。

戦後一桁生まれは戦中派ともいわれ、第一次世界大戦1914～1918（大正7年）／シベリア出兵1918～1922（大正11年）／昭和七年上海事件／同12年支那事変（日中戦争）／13年張鼓峰事件／14年ノモンハン事件／16年太平洋戦争と続き、当時は天皇制教育・軍国教育のもと義務教育・兵役・納税は国民の三大義務の世の中であり、私たちは戦時中に最も多感な少年期を過ごした。こんな時期、私は昭和2年12月に生まれた。出生すぐにもらい火で火災にあい、乳児の私は母に抱かれて逃げ迷ったそうで、厳冬ゆえ顔の頬には凍傷にやられた傷あとが残る。勿論知りえなかった。戦時中にも空襲で家は焼かれ、二度の全焼丸焼け火災である。この年は銀行取り付け騒ぎも起こり、金融恐慌に続き世界恐慌のはじまりでもあり、不況にあわせて凶作。この前後大正10年原首相暗殺、昭和5年浜口首相テロに狙撃され重症、7年には犬養首相も射殺、11年には2・26事件と政府要人がテロにあう時代でもあった。

そんな時期私は昭和9年4月宇都宮市の中央尋常小学校に入学した。校庭に二宮金次郎の像は記憶にないが奉安殿（御真影と教育勅語が納められていたお社風の建物）の存在を不思議に思った。

つづく

人生八十八才を振り返って

麻生伊登子

［前編］

私は、房州の九十九里浜に近い農家の八人兄弟の三番目として生まれ育ちました。朝は拭き掃除をしてから四十分かけて田圃道を歩き、雨の日はみんな裸足で学校の洗い場は満員でした。

夕方は夕飯の支度です。それも十歳から始めました。弟妹達のおやつは味噌おにぎりを作っておきます。畑へ出て野菜を取り、つるべ井戸で水を汲んでご飯の支度です。カマドの火がなかなか燃えない日もありました。それでも夕方皆が集まる夕食は賑やかでした。

食事が終わると、チャブ台を囲んで教え合いながら宿題に取り組み、明日の準備をしてから重なりあって寝ます。

学校の行事は、まず運動会・学芸会は村中で行い、おにぎり持参で賑やかに夕暮れまでかんばりました。

十一月三日（明治節）が毎年、運動会と決まっていました。楽しいブルマー姿も懐かしいですね。これも裸足で冷たかったのを忘れません。八年間の小学校生活は一日も欠席せず卒業しました。

つづく

東大泉で狸発見

一月十六日午後三時半過ぎ、東大泉三丁目の民家の庭に、ネコほどの大きさの狸を発見しました。携帯を向けても逃げるそぶりも見せずにポーズ。

パソコン山田

あおい・歌壇・俳句・短歌・川柳

八十七まで　要なし耳鼻科　みみそうじ
一度くらいは　お世話になるか　相田美代子

日本に　産みおとされて　日本で
ともあれ生きる　すべ知る八十七歳
はっと今朝　鍋磨く手が　止りたり
心みがかぬ　自分に気付き　森下千壽子

病棟に　しあわせをよぶ　初日の出
初富士を　ながめてわれは　卒寿かな　相田美代子

古今抄（長期利用者様の紹介）

吉野はな（H18年6月2日から通所）

みんな和気あいあいとしていて、楽しいので休まず来ています。ここへ来る前より楽しくなって、少し丈夫になりました。

七海邦夫（H18年9月14日から通所）

①自分と似た様な人が沢山いるんだな、と刺激を受けました。
②色々な人がいるけれど、自分も頑張ろうと思う。部屋に一人でいるよりも会話するだけでも違うと思う。楽しいです。

柳生昭子（H19年2月20日から通所）

①とにかく身体にいい事色々させてくれる、（運動から精神面までも）和やかに過ごさせている事が一番心にあります。
②以前はちょっとした事で怒ったりしていた性格も、葵さんの空気で和やかな性格になれた。十年も続けて来ている事もすごいと思う。